



『1984年度千葉局経営計画』提案は



84. 5. 10
No. 1636
国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五～六（公衆）〇四七二（二二）七二〇七

五月七日の団体交渉において、千葉鉄当局は「一九八四年度経営計画」を提案してきた。

この「経営計画」は、「国鉄再建」を錦の御旗に、さらなる合理化、「職場規律確立」を強
制し、臨調一行革攻撃の集中砲火に迫らうちをかけるものである。
動労千葉は、労働者を無視した「経営計画」に抗議し、合理化計画の撤回と運転保安の確立
を要求して交渉を打ち切った。

「一九八四年度千葉局経営計画」の概要

「一九八四年度経営計画」で明らかにされた、
「今後の旅客輸送体系ビジョン」と「主な合理化
計画の実施概要」は次のとおりである。

プロジェクト概要と輸送体系

1987年度以降	1985～1986年度	1984年度	年度
<ul style="list-style-type: none"> 京葉線東京乗り入れ 在来線の成田空港乗り入れ 茂原付近連続立交化 	<ul style="list-style-type: none"> 京葉線部分開業 佐倉⇨成田間複線化 本千葉付近立交化 千葉駅改良 本納⇨上総一ノ宮間複線化 	<ul style="list-style-type: none"> 総武快速線列番新設 内房線RC改良 	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクト 輸送体系
<ul style="list-style-type: none"> 京葉線全線開業 成田線空港乗り入れ及び快速増発 	<ul style="list-style-type: none"> 京葉線部分開業（蘇我⇨西船橋間） 総武緩行線のダイヤ調整 主要線区の通勤混雑緩和 デイトムフリーケントサービスの深度化 	<ul style="list-style-type: none"> 千葉以東フリーケントサービス 特急列車の見直し 荷物輸送の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> 主要線区の通勤混雑緩和

合理化計画の実施概要

関係	概要
<ul style="list-style-type: none"> 動力車乗務員勤務等の改正 	<ul style="list-style-type: none"> 動乗勤等の改正に伴う乗務員運用の見直し等
<ul style="list-style-type: none"> 要員運用合理化 	<ul style="list-style-type: none"> 業務実態等を勘案することによる作業体制・勤務体制の見直し等

関係	概要
<ul style="list-style-type: none"> 列車乗務員運用の適正化 	<ul style="list-style-type: none"> 輸送改善に伴う乗務員の見直し 乗務能力の向上 列車掛の乗務基地の統合化
<ul style="list-style-type: none"> 輸送改善 	<ul style="list-style-type: none"> 輸送改善に関連する関係要員の作業体制・勤務体制等の見直し
<ul style="list-style-type: none"> 業務機関整理統合 	<ul style="list-style-type: none"> 乗務員・検修基地を有機的に結合することによる統廃合等

さらに、営業、施設、電気等についても「近代化」「効率化」による作業・勤務体制の見直し等の要員合理化計画が提案された。

反合・運転保安闘争で「経営計画」を粉碎しよう

こうした「経営計画」に対し、動労千葉から多くの問題点が指摘された。
当局は国鉄の財政危機を唱い、人減らしを主眼にした合理化を強行してきた。加えて「職場規律の厳正」で国鉄再建ができるかのように主張し、次々と権利を奪ってきた。そして賃金はおさえられ、手当は削減され、乗車証は改悪され、その結果がどうであったか。

国鉄の「赤字」はますます増えているではないか。にもかかわらず、「経営計画」では「業務運営の効率化、職場規律の是正等に全力を挙げて取り組んできているが、なお一層の努力により、国民の信頼を回復しなければならない」と主張し、合理化、職場規律、近代化・効率化等を提案しており、決して容認できるものではない。
当局は労働者への犠牲をおしつける「経営計画」を撤回し、現場の労働者に明確な展望を示すべきである。
動労千葉は、以上の点を厳しく指摘し、交渉を打ち切ったが、反合・運転保安闘争の強化で「経営計画」そのものを粉碎していこうではないか。